

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

MCI改善プログラム

事業概要

認知症発症リスクが高い軽度認知機能障害(MCI)を有する者を早期に発見し、短期集中型の認知機能向上に効果的な運動介入プログラムを実施することにより、MCIの改善を目指す。

また、元気高齢者の事業への参画を促すことにより、地域全体で介護予防・健康増進に取り組む体制構築を目指すもの。

事業内容(参加者数・予算等)

● 参加者数・予算

約200人、1,265,220万円

● 市民向け講演会の開催

認知症予防の普及啓発を目的とした講演を開催

対象:65歳以上の市民、介護予防に関心のある市民

● ファイブ・コグテストの実施

対象:市民向け講演会の参加者のうち、受検を希望する65歳以上の市民

定員:100人

● 短期集中型プログラム「キラリ脳トレ講座」の開催

認知機能向上を図るための、全12回の連続講座を開催

対象:ファイブ・コグテストを受検した者のうち、参加希望者

定員:20人×2教室

事業効果

本事業については、平成29年度新規事業であることから、年度末に下記について評価を行う。なお、次年度以降に医療費の推移等長期的な効果検証を行う。

- 認知機能の維持向上、仲間づくり、他の介護予防事業に携わる運動指導員の技能向上

その他

- 医療費の抑制効果に関する効果検証、需要に対する供給量の不足、講座修了後のモチベーション管理が課題となっている。